

○ 本校の概要

開校97年目を迎えた伝統ある学校である。地域、保護者には本校の卒業生が多く、熱い「学校愛」に支えられている。そのため、学校を大切に育むという思いを共有し、互いに信頼関係を築き、即座に課題を解決する。昨年度は教職員に書面ではなく直接対話を行わせ、誠意ある対応を積み重ねた結果、保護者の満足度が上昇した。そこで今年度は、「問題解決力」(情報共有を含む)「一歩先を行く対応」を学校経営のキーワードとし、問題解決や調整を管理職任せにせず、学年や分掌等で情報を共有し全体像を明らかにしながら解決策を構築し、主幹、管理職に上げるというシステムを確立する。また、地域、保護者からの要望等については、先方が求めている以上の対応を実行することで、開校100周年に向けて信頼関係をより強固にする。児童については、特に体力向上を喫緊の課題と捉えている。日常的に体を動かす機会を担保するとともに、学級、学年で競い合う運動を年間を通して実施することにより、自分から進んで運動する児童を多く見たい。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 10 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組今後の改善策, 学校関係者記入欄 (評価人数, コメント). Rows include categories like '未来社会を創造的に生きる子供の育成', '児童・生徒一人ひとりの学び意欲を高め、確かな学力を定着させます', '子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めること、また、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への豊かな心を育む', 'スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします', '児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境づくり', '学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。'

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。  
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。  
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。